

## 会 議 録

### 1 会議名

令和3年度 第7回金谷区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

### 3 開催日時

令和3年10月27日（水） 午後6時00分から午後7時00分まで

### 4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）  
石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、神崎 淑、小林雅史、高橋敏光、  
高橋 誠、高宮宏一、長 和子、土屋博幸、平良木美佐江、益田侑季  
（欠席1人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

### 8 発言の内容

#### 【五十嵐主任】

- ・ 現在、神崎委員、高橋敏光委員、山本委員を除く13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

#### 【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：石川委員と益田委員に依頼

(高橋敏光委員が到着)

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

(神崎委員が到着)

【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について—

【村田会長】

次に次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

ア意見交換については、金谷区では今年度の委員で、地域住民との意見交換等は行っていない。

しかし、自主的審議事項での金谷区の防災機能強化について、今後、検討チームがモデル地区の選定に向けて協議していく中で、地元の町内へ防災訓練の取組状況等を聞いたりする意見交換が必要になってくると思われる。

また出張協議会は、令和元年度に飯町内会館で実施以降、行っていない。

これらについて、地元の町内会や各種関係団体との意見交換を改めて行うかどうか意見等を出していただき協議を進めていきたい。

意見交換会、出張協議会について意見を伺う。

【石川委員】

私たちが出かけるのは、何も問題はないと思う。皆さんの方で情報があればいいが意見交換会に来て欲しいという場所があるのか見えてこない。出張協議会については、ただ闇雲に行っても仕方がない。何か課題があってそれを持って出かけられる要素があればかまわないと思う。課題がはっきりしてからでないという意味がない。

**【村田会長】**

課題、地域からの要望があれば、いくらでも出向くということ。今、新型コロナウイルス感染症も終息に向かっているが、まだまだ心配もある状況の中で、積極的に実施して良いのかという考えだと思う。

**【大瀧委員】**

各地区、各町内会、一町民として地域協議会へ要求をして、それで予算がついたといった事実があると地域協議会の関心も出てくると思う。そういった事実がないと何となく他人事のような感じがするのではないか。

地域協議会がこのような形で、いろいろ仕事をしているということは理解していると思う。自分の町内のいろいろな要求を実現するために資料を集めたり、皆さんの意向をまとめたりしていると、自分のことがらのように感じると思うが。

**【加藤委員】**

石川委員と同じ意見である。

こういう交流は必要だと思うが、果たして手を挙げてくれる町内があるのかが心配。必要なことは必要だと思う。過去を見ると町内からあがってくる意見よりも、団体に要請・要望が出てきてそれを協議している状況である。各町内に出向いて「何かありますか」と聞いて、「こういうのがあります」というのが、この広い金谷地区であるだろうか。

**【神崎委員】**

私も同じ意見である。

町内会に出向くというよりは、何か他の活動をしている団体と意見交換をした方がいいと思う。去年、活動発表みたいな事例発表があったので、それを大々的に宣伝して興味がある人に、こういうことが地域活動支援事業でできるし「地域活動支援事業のことを地域協議会でやっている」ことをPRするのがいいのではないかと思う。

**【小林委員】**

皆さんと同じであるが、地域の課題を共有するという目的と、今、地域協議会が抱えている問題をもっと地域にアピールしなければならないこと、地域協議会同士

の横の繋がりがあまり活発ではないことがある。現時点で我々がその地域の課題を拾ったとしても、地域協議会から発信する権限がない。今後の地域協議会の進め方というか、今回の意識調査の検討結果を受けて改善されるのかわからないが、それとの整合性を持って進めないと「単純に出向きますよ」、「みなさんの意見だけききますよ」と言っても、我々として正直できないこともあると思う。もう少し方向性を見極めてもいいのかもしれない。

#### 【高橋敏光委員】

地域課題というのはその町内若しくは、金谷地区を北部、中部、南部地区に分けた地域、山間部の方に分けた地域といろいろな形があると思うが、多分課題として残っているのは人材不足である。人材不足というのは、例えばボランティアで行っている児童生徒の見守隊の不足、防犯パトロールをする人材である。他には、民生委員、町内会長、消防団である。一番苦しんでいるのは消防団だと思う。消防は少ない地域を昨年合併した。

小林委員の方から頑張ってもらっている災害の方の話にもなるが、消防団のなり手がいない。金谷地区の消防団は、20年くらい前であれば大体40歳から45歳定年で終わったが、今は60歳70歳になっても消防団というのが現実だと思っている。災害が起きたときのために消防団と話をしたいと考えている。また、上越市内のあちこちに分遣所があるが広い金谷地区にはない。地区公民館に続いて分遣所もない現実があるため、そこをきっかけに意見交換の話を持っていってはどうかと思う。

#### 【高橋誠委員】

大筋同意見である。

その前にこの意見交換会というのは内容的によくわからない。ここに書いてある平成27年から令和元年まで各会場で行った意見交換会においてどういう意見が出ていたのか認識していない。その話を聞いたうえで検討した方がいいのではないか。また、もう一つ防災機能強化ということで、せっかくそういうプロジェクトが発足したので、これがもう少し煮詰まった段階で各町内または消防部との意見交換が非常に有効になると思う。

今の現段階では、新型コロナウイルス感染症も含めてちょっと時期尚早かと思う。

#### 【高宮委員】

私の意見も皆さんが言われるとおりにかと思う。

ただ、このコロナ禍で終息に向かうかどうかという瀬戸際にきている。我が町内会においては全く行事はやっていない。万が一感染者が出ればというようなことで、子ども会をはじめ町内の行事や老人会の会合等々は、一切行っていない。地域の課題、あるいは出張協議会については、時期尚早かと思う。

これが収束した時点でやる。それまでに、この金谷区地域協議会の中で、どのような課題があるか皆さんと意見を出し合っていく。そのために、各町内から選ばれているので、自分のところにはどのようなものがあるかという話し合いから進めていくべきと思っている。

#### 【長委員】

意見交換会や出張協議会などがあること自体知らなかったのので、まずそういう認知度を上げること。私は地域活動支援事業を通して地域協議会を知ったので、例えば地区の課題があったら、ちょっと困っているとか、何か手伝いができるかということが、こういった会があること自体がわからないと繋がっていかないと思う。そういう課題を持っている人たちのところで意見交換会などを開いた方がいろいろ繋がっていくと思った。

#### 【土屋委員】

大筋は皆さんの意見とかわりはない。

以前出張協議会で、鳥獣被害というのが出てきてそれを詳しく聞きたいと思い、そこに参加されていた方に時間を取っていただき、事情を知るために話を聞いた。

聞くだけで何もしてあげられないというか、そういう状況の虚しさを感じたこともあったりした。出張協議会はいろんな意見を聞くにはいいことだとは思いますが、それをどう解決するのか、どのようにしていったらいいのか。もちろんコロナ禍であることもあるが、その道筋ができていないと感じたこともあった。金谷区の中にある各種団体と意見交換する中で、地域の課題を明確にして、話し合いをする方がいいと思った。

高橋敏光委員が言われた、消防団の人材不足が深刻だということだが、消防署の本部が移転したことで上越南消防署はめちゃくちゃ縮小されている。いつの間にこんなに規模が小さくなったのかと思った。やっぱり、人口が一番多いのは高田地区なので、もし高田に何かあった場合にどう対応するかと思うと、分遣所というものが必要だというようなことを声として上げていく必要があると思った。

そういうものが見えてくるのも意見交換の場だと思う。そのような場がセッティングされたらありがたいと思う。

#### 【平良木委員】

意見交換をやる、やらないが先にあるのではなくて、例えば自主的審議事項における課題の解決に応じ、必要な場合に関係団体と意見交換を行う、今回であれば防災のことがいいと思う。

上中田と青木で行った出張協議会にでたことがある。上中田のときはどんなことをしているのか知りたかった。青木の場合は、前の10団体との意見交換会に出たのでその話がどのようにまとまるか知りたかった。出張協議会のねらいや地域の方のメリット、そのことが自分の中で整理されていないので、地域へ出て行くほどのことが今はない。当分このことがはっきりするまでは、このままこの場所でいいと思っている。

#### 【益田委員】

地域協議会というものがあることは知っていたが、意見交換会や出張で意見を聞いていることも知らずに過ごしていた部分がある。いろんな活動をやりますという団体の方が、地域協議会に見てもらおうということだけではないということを今聞きながら改めて感じている。

コロナ禍であるということで、出て行くことは難しいとなれば、一体どこにどのような問題があるかということがわからない。私は、未だにわからないが今できることと言えば、防災の検討チームの話が続いているということに興味がある。何かあったときに、私たちが一体どう動いたらいいかわからない部分があるので、このようなことをここで検討したり、話を聞いたりできればいいと思っている。

#### 【山井副会長】

本当に課題があれば話を聞いたりすることもいいと思うが、地域協議会委員ではあまり解決に乗れないと思っている。

#### 【川住副会長】

まず平成27年に灰塚で行った出張協議会は、自分の中で非常に心に残っている。この時に傍聴席の方から「防犯灯が非常に暗くて危険です」という意見が出て、その後振興協議会の方で防犯灯をやろうとなり、5年がかりで金谷区全部の防犯灯をLEDへ変えた経緯がある。

出張協議会で、本当に困っている人の意見を聞くには、やはり地元の人に接することが大事ではないかという気がする。

私は向橋という町内に住んでいるが、公共事業が集中的に来ている。新幹線、高速道路、山麓線も来ている。今度はダムができるという話もある。ダムの方も非常に今、調査が進んでいる。横穴などを掘ってダムの安全性ということをやっている。そのため、車の出入りが朝晩けっこう多い。地元の人たちは本工事が始まったときに、非常に不安を感じていると思う。ダンプカーがたくさん来るのではないかとか、洗濯物などの干し物に埃がかぶるのではないかとか。そういった地元の話を聞くとか、そういうのも非常に大事なような気がする。町内会館も新しくなって、駐車場もたくさんあるが冬は駐車場全部の除雪ができないので、もし皆さんの賛同が得られれば来年4月以降、向橋町内を一度見てもらいたいと思っている。

#### 【村田会長】

要望等を含めた話をいただいた。

私たちが地域協議会委員として、地域の課題を見つけ発見する、教えてもらうためには、意見交換することが肝要である。地域の各種団体、地域の町内会の方々と、共有する場であると認識しているので、いただいた意見を総括し正副会長で協議をしたい。

私たちが今までやってきたことを否定するものでもなく、現在進めている形が最も望ましいと思っている。ただ、コロナ禍であることが歯止めになっていることも承知をして進めていきたいと考えている。

次にイ会議運営について

会議の開催日、開催時間、回数について、現在毎月第4水曜日、午後6時から行っている。

・現行どおりでよいかを諮り委員の了承を得る。

次に、視察や研修の積極的な実施について現在、視察や研修をそう多く実施していないが、昨年は自主的審議事項の取組の中で上越市防災士会の大滝会長を招いて委員全員で勉強会を行った。その他に市民安全課や危機管理課からも避難所についての説明をうけた。

金谷区だけでなく他地区との交流を行ってはという話もあった。

積極的な視察や研修の実施について意見を伺う。

#### 【石川委員】

他の地域協議会との意見交換はあまり気が進まない。私が前の地域協議会委員のとき、高橋敏光委員のマップの関係で金谷区内を回ったことがある。すごくよかったと思っている。何故かというところと知らないところがあまりにも多くて、会津墓地とか医王寺とか、通り過ぎるだけで止まってまで見たことがなかった。それから、田んぼの水を溜める場所やここで排水して基盤をつくっているとかとても参考になった。よそへ行かなくても、この金谷地内でまだまだ見た方が、知っていた方がいいというのがある気がする。ぜひ、1度ぐらい、今コロナ禍でバスでまわるわけにはいかないのかもしれないが、何らかの形で共有しておいた方がいいと思う。

#### 【土屋委員】

石川委員の素晴らしい意見だと思う。それを前提として、こういう場なので聞きたい。私が前期の委員であったその前の委員の方のときに、飯山に視察に行かされている。その飯山に視察に行った内容で何かいいものがあったか聞きたい。

#### 【村田会長】

その当時のことは、高橋敏光委員、川住副会長、高宮委員の3人の方でわかる範囲で教えていただければと思う。

#### 【川住副会長】

その当時新幹線の駅ができるということで、先の飯山へ行って駅を見た。そのほかにも、ぐるぐるまわった。そんなことで、今の上越妙高駅の参考で和田区地域協



議会と一緒にいった。

#### 【高宮委員】

私の反省点であるが、南部地区に青田川が流れている。南葉山の雪解けの水をとめて、それを用水に使っている。新井の青田町内会がこれを管理している。そういう歴史を見るとときに金谷区のエリアだけならいいが、他者が権利を有しているところに土足で入ると、その集落の方々に迷惑をかけることも注意しなければならない。計画的に十分検討しなくては駄目である。南部地区は今もやっていると思うが春と秋、田植え時期が始まった時、収穫が終わった時に、青田町内にお礼のお酒等々を届けている。春先だとお水を分けていただいたそのおかげで、秋はこれだけの収穫ができたというお礼に行く。そのことについて以前会長をしていた時には知識がなかった。青田川というと全て上越市内のものだと思っていたが、南部の町内会と青田町内とでもめたというのを聞いてお詫びした。そのようなことがあるので、見ることはいいが、その辺の歴史などをきちんと調べなければいけないというのが反省点である。

#### 【小林委員】

防災関係で検討していることであるが、来年度、避難所の3者立ち合いには何らかの形で、見学でいいので参加できるようにお願いしたい。

#### 【高橋敏光委員】

金谷区の観光・歴史において私の方で作った観光マップもある。それを皆さんは全部まわっているかわからないが、それに沿って来年暖かくなって天気も良くなった春に、金谷区観光巡りを皆さんと一緒に他の方も入ってもいいが、できればいいと思っている。金谷地区全体を知ってもらうには、皆さんも現地を見て、こういう歴史もある、こういう場所もあるということと一緒に勉強していければと思っている。

#### 【石川委員】

先ほどの飯山で思い出した。多分その時私もいたのではないかと思う。飯山に行った時にすごく感動したことを覚えている。

というのは、NPOか何かで道の駅や高橋まゆみ人形館の管理をやっている人に、

「その中でどれが一番の稼ぎ頭ですか」と聞いたら、「もちろん高橋まゆみ記念館です」と言われた。1日約400人で入場料が600円。その人形は変えてはいるが1つも売らない。とっかえひっかえ新しいのを入れている。高橋まゆみさんの力であるが、高橋まゆみ記念館というのは一言もなくて、それは議会で個人のものを飾るのに公のお金を使ってそんな名前はつけられないということになって、寺町交流館という名前がついた。私は地域の活性化に、1人の人の力というのが素晴らしいなと思った。高橋まゆみさんは賞をとってデパートの人が目をつけて、彼女の人形を持って数年間全国のデパートをまわったそうである。その期限が切れるときに市議会の1人から、「これはもうよそにあげられない宝だからここでやりましょう」ということになった。1人の人の力でこれほど活性化ができるのだと、ものすごく感動して7回くらい行っている。要するに活性化とはやっぱり、人間なのだと思って、すごく感動したのを覚えている。それは飯山へ行ったときの最大の収穫であった。

#### 【村田会長】

そういった機会を、十分に検討しながら正副会長で打ち合わせをして進めたいと思う。

それでは伊の会議運営についてという中に、「委員の責務として全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい」、「協議会に参加してもなかなか発言できなかった」とある。

これについて皆さんに意見を伺う。

私の方も「発言できなかった」ということにならないような会議の運営方法に、未熟ながら取り組んでいるつもりである。至らなかったということになれば、更に工夫して会議運営に努めていかなければと思うがどうか。

- ・この件について他に意見を求めるがなし。

次にウ情報発信についてである。

地域協議会だよりを年4回発行している。前回の地域協議会ではたよりをカラー刷りで配布され、カラーだといいなと感じている。

この地域協議会だよりについて、意見、改善する点などがあれば意見を伺う。

他の地区も全て年4回で、白黒印刷であり金谷区だけカラーというわけにはいか

ない状況である。

- ・この件について他に意見を求めるがなし。

以上で次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。

#### —次第4事務連絡—

##### 【村田会長】

次第4事務連絡について、事務局に説明を求める。

##### 【堀川センター長】

また何か気づいた点やこの件について担当課を呼びたいとか、専門の講師を呼んで話を聞きたいとかという要望があれば事務局をとおして、正副会長と相談しながら進めていきたいと思うので、遠慮なく申し出て欲しい。研修についても同様である。

- ・次回会議：11月24日(水)午後6時00分から 福祉交流プラザ
- ・内 容 (予定)：「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について
- ・当日配布資料：男女共同参画推進センターからのおたより(5種類)

##### 【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

##### 【小林委員】

今日検討した意見交換であったり会議運営だったりというのは、金谷区だけでクローズなのか。それとも金谷区でこういう意見が出たというのを、市に上げるのか。

##### 【堀川センター長】

今の話は金谷区だけの改善点を議論している。その結果は、自治・地域振興課の方で集約され、例えば、他の区でこういった事例が上がったとか、こういったことをやるように決まったとか、こういった改善点があったということ、28区会長

会議を通じて皆さんにフィードバックされると思われる。

**【村田会長】**

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。